

Indonesia Weekly

2018年7月23日



(対象期間：2018/7/16～7/20)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2018年7月20日)



【株式市場】

週前半は、利益確定売りに押され銀行株を中心に弱含みとなりました。木曜日、インドネシア中央銀行（BI）は政策金利の据え置きを決定し、その後、通貨ルピアが2015年来となる安値まで下落したことが嫌気され、週末にかけて上値の重い展開となりました。セクター別では、農業が堅調となった一方で、消費財、運輸などは下落しました。

2018/7/13	2018/7/20	変化率
5,944.07	5,872.78	-1.20%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2018年7月20日)



【債券市場】

火曜日に行われた国債入札では投資家の需要の回復が見られましたが、週を通じて下落基調となりました。BIは政策金利を据え置きましたが、今後も、通貨安定をめざし、引き続きタカ派的な政策をとる姿勢を示しました。決定会合後、債券市場は続落し、10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

2018/7/13	2018/7/20	変化幅
7.493	7.879	+0.386

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2018年7月20日)



【為替市場】

木曜日の金融政策決定会合を前に、ルピアは比較的狭いレンジでの推移となっていました。政策金利据え置きの決定を受けて、再びルピアが下落しました。ルピアは対米ドルで2015年10月以来となる14,500台へと下落しました。対円では円が週末にかけて円高傾向となったことから、ルピアは対円でも下落しました。

2018/7/13	2018/7/20	変化率
0.780	0.774	-0.67%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイ

ナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

180723 (01)